

留学紹介 国立台湾芸術大学の交換留学

筑波大学 芸術専門学群 美術専攻書コース 鈴木吉貴

場所・期間

国立台湾芸術大学・2016年7月～2017年8月

目的

留学の目的

1. 書画の作品制作技術の向上

2. 授業理解に必要な中国語の習得

技術・語学の双方を向上させることを本留学の目的とした

学習の進め方 1. 技術の向上



「清風高節」2016年 鈴木吉貴

作品制作技術の向上のために取り組んだこと

書と絵画が一体となった作品を作りたい



現在の日本では書と絵画が一緒に学ばれることは少ない

そこで
現在も書・絵画・篆刻が一緒に学ばれている台湾芸大で勉強

・専門分野である書の授業は発展的なものを選択
・絵画・篆刻に関しては基礎的なものを選択

学習の進め方 1. 語学の習得

中国語の習得のために取り組んだこと

台湾芸大の授業は中国語で開講されるので、理解を深めるために語学の学習はとても重要

現地の大学生と言語交換・積極的な交流

生きた言語を学ぶ

長期休みの間は、台湾師範大学の留学生向けの中国語の授業を履修

正しい文法や発音などを勉強

多彩な国籍のクラスメートと交流

授業の様子



「水墨画進階」林錦濤先生

台湾芸大の授業の特徴

1. 書・絵画・篆刻を必修科目として、その他にも、自分の興味に合わせて様々な科目を選択できる

2. 実技科目は、1コマが4時間を超える講義もあり、先生が作品を作り、学生が見学する授業スタイルが多い

3. 後ろの席から先生の手元が見られるように、投影機が各教室あり、パソコンやマイクなどの電子機器が充実している

寮生活



宿舎にてルームメートと共に

台湾芸大の宿舎

交換留学生は、留学生用のフロアで生活する

私のルームメートは、中国からの留学生で、前期は4人、後期は3人

親切なルームメートに恵まれ、楽しい毎日過ごすことができた

課外活動



書道教室にて 林國山先生

大学の外での学習

台北の書道教室に通い、台湾の書道界で活躍する先生に、直接指導してもらう

現在台湾でどのような書作品が評価されているかを考える

小学生から、お年寄りまでの、幅広い年齢層が通う教室で勉強することで、台湾の文化も合わせて学ぶ